



各 位

2022年5月13日

会社名 東京ラヂエーター製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 落合 久男
(コード番号 7235 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 本部長 矢野 和彦
(TEL. 0466-87-1231)

**通期連結業績予想と実績との差異及び繰延税金負債の計上、
剰余金の配当決定（無配）並びに次期配当に関するお知らせ**

2022年2月10日に公表いたしました2022年3月期 通期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたこと及び連結子会社から当社への配当方針を変更したことに伴い繰延税金負債を計上しましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当について無配とすることを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期通期連結業績予想と実績との差異及び繰延税金負債の計上について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,000	百万円 △200	百万円 △100	百万円 △600	円 銭 △41.70
実績 (B)	26,988	△92	95	△801	△55.68
増減額 (B-A)	988	107	195	△201	
増減率 (%)	3.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	25,996	122	373	106	7.40

(2) 差異の理由

売上高は、半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大による部品調達の影響はあるものの前回発表の業績予想を上回る結果となりました。営業利益、経常利益については、アルミ・鋼材及び原油の市況の高止まりからくるコスト上昇、海外貨物輸送費の高騰の影響、部品供給不足を理由とした生産調整の広がりによる生産効率の悪化による影響はあるものの、売上高の増加、合理化活動の実施等により、前回発表の業績予想を上回る結果となりました。また、当社は、連結子会社から当社への配当方針を見直したことに伴い、海外連結子会社の留保利益に係る将来加算一時差異について繰延税金負債を計上することとしました。

この結果、法人税等調整額を5億11百万円計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表の業績予想を大幅に下回る結果となりました。

2. 剰余金の配当について

(1) 2022年3月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	7円50銭
配当金の総額	—	—	107,909千円
効力発生日	—	—	2021年6月28日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2) 理由

当社の利益処分の考え方については、企業体質の強化や将来の事業展開に備えるため内部留保の充実等を勘案しつつ、株主に対する安定的な配当を継続することを基本としています。

2022年3月期におきましては、第2四半期末に1株あたり8円の間配当を実施しておりますが、期末配当に関しましては、客先の半導体不足の影響による生産調整や、その他の当社を取り巻く環境やその背景等を鑑み、無配といたしました。

3. 次期の配当について

当社は株主の皆様に対する利益還元策を重要課題の一つとして認識しており、2023年3月期の配当につきましては、本日の決算発表のとおり、業績予想等を勘案したうえで、1株当たり年間配当金16円（うち、中間配当金8円）を予定しております。

以上